

小学校 第6学年 社会科 学習指導案

北海道江別市立中央小学校
教諭 高橋 公平

単元名 戦争と人々の暮らし（7時間）

単元の
ねらい

- 日本がかつて戦争をし、国内外に大きな被害を出したことについて理解するとともに、写真資料や遺跡、文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

本時の
ねらい

満州国の建国や中国で戦線が拡大していった経緯を調べ、日中戦争がどのようなものかを捉える。当時の時代背景を踏まえながら、それぞれの立場でどのような想いがあったのかを考え、表現する。（第2時）

指導時期 11月下旬

指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

本時の「指導者用デジタル教科書（教材）」には、導入場面に二つの動画がある。これを見せることで、本時でおさえたい知識を短時間ですばやく把握することができる。本実践では、教科書内容を踏まえつつ「考える」場面を設定しているので、どのような経緯で満州事変が起きたのかななどを動画でスムーズに理解できることは、非常に重要である。

児童にとっては、動画の内容と教科書の記述両方の情報からワークシートを記入することで、自分に合った資料の選択ができ、短時間で本時の学習内容をまとめることができると考えた。

本時（第2時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用														
導入	● 昭和の初めごろの時代背景を、教科書の記述やデジタル教科書の動画で調べ、当時の日本の国民や政治家・軍人はどのようなことを考えていたのか、どのように戦争へと向かっていったのかを確認する。 ● そのような流れの中で、日本と中国の間で戦争が起こったことを伝え、課題を提示する。	● p.206 の二つの動画「満州に移り住む」「満州事変」を見せ、昭和の初めごろの時代背景を確認する。 														
	日本は、中国との戦争によってどのように変わっていったか、調べよう。															
展開	● 満州国建国や日中戦争開始の経緯を調べ、ワークシート（授業者作成）にまとめる。 <table border="1"><thead><tr><th>年号</th><th>出来事</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td> 日本国民 生活が苦しい 軍人や政治家 この不景気から回復したい 満州 を日本のものにすれば、生活がよくなる </td></tr><tr><td>1931年</td><td> 満州事変 が起こる </td></tr><tr><td>1932年</td><td>満州国がつくられる</td></tr><tr><td>1933年</td><td>国際連盟が満州国の取り消しを求める → 日本は国際連盟を脱退</td></tr><tr><td>1937年</td><td> 日中戦争 が起こる </td></tr><tr><td></td><td> 日本 100万人の兵力 中国 激しい抵抗 アメリカ・イギリス の支援 中国全土へ戦争が広がり、長期化 </td></tr></tbody></table>	年号	出来事		日本国民 生活が苦しい 軍人や政治家 この不景気から回復したい 満州 を日本のものにすれば、生活がよくなる	1931年	満州事変 が起こる	1932年	満州国がつくられる	1933年	国際連盟が満州国の取り消しを求める → 日本は国際連盟を脱退	1937年	日中戦争 が起こる		日本 100万人の兵力 中国 激しい抵抗 アメリカ・イギリス の支援 中国全土へ戦争が広がり、長期化	
	年号	出来事														
	日本国民 生活が苦しい 軍人や政治家 この不景気から回復したい 満州 を日本のものにすれば、生活がよくなる															
1931年	満州事変 が起こる															
1932年	満州国がつくられる															
1933年	国際連盟が満州国の取り消しを求める → 日本は国際連盟を脱退															
1937年	日中戦争 が起こる															
	日本 100万人の兵力 中国 激しい抵抗 アメリカ・イギリス の支援 中国全土へ戦争が広がり、長期化															
	● ワークシートを投影し、一つずつ児童に答えさせながら、内容を確認していく。															

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	ワークシートに書いた内容を共有しながら、資料からどのようなことがわかったのかを確認する。 T：ワークシートに書いた、この時期にあったことを発表しましょう。それは、どの資料からわかりましたか？ C：資料エから、戦争がどんどん広がっていったことがわかります。 C：資料ウから、日本が国際連盟を脱退したことがわかります。国際連盟の求めに日本が応じなかったことがわかります。 C：資料カから、激しい戦闘だったことがわかります。市街と書かれているから、大きな町にまで日本が攻めていったのだと思います。	- 表に合わせて、それぞれの資料を大きく投影する。 - p.207資料エは、「操作」機能を使って「1941年までの戦場」「日本軍が兵力を進めた地域」を順番に表示する。  1941年までの戦場  日本軍が兵力を進めた地域 
まとめ	本時の学習をまとめる	日本は満州事変をめぐって国際社会で孤立し、国内で軍が力をつける中で中国との戦争を始めた。

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ	●「日本」「中国」「アメリカ・イギリスなど」には、どのような思いがあったのかを考える。 T：今日学習した内容の中で「日本」「中国」「アメリカ・イギリスなど」がしたこと・されたことについて、あなたはどのように考えますか？ 「日本」「中国」「アメリカ・イギリスなど」のそれぞれに対する感想や意見をプレゼンテーションツールに書きましょう。 ◎：（日本に対して）「戦争を始めたのはおかしい。」「国民の生活を守るためという理由は、わからなくもない。」「国際連盟から脱退してだいじょうぶなのか。」 ◎：（中国に対して）「いきなり攻められて、激しく抵抗する気持ちもわかる。」「自分たちの土地を奪われたのだから、返してほしいと思う。」 ◎：（アメリカ・イギリスなどに対して）「日本の行動はおかしいから、味方がいなくなるのは当然。」「被害者の中国を助けなければと、援助が広がってよかった。」	●プレゼンテーションツールの共同編集機能を活用し、「日本」「中国」「アメリカ・イギリスなど」の立場から考えを整理する。
		日本 戦争を始めたのはおかしい 国民の生活を守るためというのはわからなくもない 国際連盟を脱退してだいじょうぶ？ 中国 自分の土地を返してほしいと思う 攻められて激しく抵抗するのはわかる アメリカ・イギリスなど 日本の味方がいなくなるのは当然 中国への援助が広がってよかった

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

教科書や資料集に記述された情報を読み取る際に、どうしても子どもによって理解度に差が生じてしまっていたが、動画を活用することでスムーズに知識をおさえることができた。また、資料からわかることを確認する際に、写真や本文の記述を拡大できる点も、読み取りの視点を焦点化するために有効であった。

また、今回はまとめの場面でプレゼンテーションツールの共同編集機能を活用した。プレゼンテーションツールに意見を書いたカードを貼りつけることで、子どもの思考を整理したり、それをもとに交流したりすることができた。スライドに教科書の写真資料などを貼りつけると、子どもの思考を資料に基づいたものにすることも可能である。端末上で操作がしやすいことは授業準備の時間の短縮にもつながられる。日常の授業で使いやすいという点は、とても大きなメリットである。

年号	出来事
	日本国民 軍人や政治家 を日本のものにすれば、生活がよくなる
1931年	が起こる
1932年	満州国がつくられる
1933年	国際連盟が満州国の取り消しを求める → 日本は国際連盟を脱退
1937年	が起こる 日本 100万人の兵力 中国 激しい抵抗 の支援 中国全土へ戦争が広がり、長期化